

7-3 オープンキャンパス

2024年6月1日（土）に、オンサイト形式にて分子研オープンキャンパスを開催した。周知方法としては、各研究教育機関へのポスター送付、専用HP（<https://www.ims.ac.jp/sokendai/>）、分子研X（旧 twitter）、YouTube（<https://www.youtube.com/@bunshiken/shorts>）などを通じて、広報活動を2ヶ月程度行った。COVID-19 パンデミック後初の対面開催であった。日本全国から35名の大学生・大学院生の参加があった。

午前の部は、岡崎コンファレンスセンターの大隅ホールにて9時50分から開催された。所長と大学院委員長による分子研・総研大の概要説明の後、大学院入試の説明、及び参加者からの質問回答の時間が設けられた。ラボ紹介PRセッションでは、約15の研究室の教員から、分子研で行われている最先端の研究取り組み内容の紹介があった。難しい内容も含まれていたが、多くの参加学生が熱心に聴講している様子が大変印象的であった。今回は、総研大現役大学院生4名によるキャンパスライフトークと質問回答セッションを設けた。さらに、お昼休憩を活用し、中会議室で約1時間のランチ交流会を実施した。和気藹藹とした雰囲気の中で、様々な出身大学の学生と分子研の教員・大学院生の間で交流が活発にすすみ、あっという間に時間が過ぎた。

午後の部では、明大寺キャンパス及び山手キャンパスのラボツアーが行われた。オフィスでの研究室紹介や実験室での研究室紹介に加え、体験実験も企画する研究室があるなど、ラボツアーの実施内容は研究室によって様々であった。参加学生の所属学部・学科の分布などの影響もあり、訪問学生数が研究室によって20名超～数名とばらつきもあった。参加した学生からは、「研究環境が素晴らしかった」、「今後の進路を選ぶ上で大変貴重な体験となった」、「大学院生の先輩方や教員の方々が親身に話してくれありがたかった」、「運営スタッフの方の対応がとても丁寧でありがたかった」などの声があった。

次回開催に向けて改善できる余地はまだあるが、以上のように、参加された先生方や大学院生、運営スタッフの方々のご協力により充実したオープンキャンパスを開催することができた。